

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町1F)

TEL. 054-252-2418
FAX. 054-252-2430

発行人 松浦 源

よりよりよ五月十九日は、
金城駒岡六会です。=
原板組会員は、全國參
加で成功させましょう。=

令和四年度に 向けての取組み

A black and white portrait of Dr. K. S. Kim, an elderly man with glasses, wearing a suit and tie.

理事長

我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの一部に弱さがある。先行きについては、まん延防止等重点措置解除後も感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直していくことが期待される。

ただし、内外の感染拡大による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があると分析されている。

このよろくな、建築板金業界に直接影響する設備投資はこのところ持続

直しの動きがみられるがおおむね横ばいとなつておると分析されている。

このように我々の業界を取り巻く環境は、住宅新築などの受注機会の減少傾向に加え、度重なるルス感染症のまん延防止対策等により、経営環境は依然として厳しい状況にあるが、このような時こそ、長年に亘つて培われた組合員相互の連携、協調、団結精神を一層強固なものとして、その時々の経済情勢に対処していく必要がある。

このためには、社会情勢の変化も的確に把握し新しい技術・技能の研鑽に努め、また時代変化に対応でくる建築板金業の経営マインド等についても今まさに真剣に、かつ幅広く議論し実践すべき時にあると組合員相互が認識することも必要である。

近年、組合員の減少度合いが激しくなつており四年度当初では、二五五名となり、三年度当初と比較して総数では五名の減少となった。

このところ例年、廃業高齢化等により総じて年間多くの方々が、組合を去つてるので、引き続き重点課題と認識し、規組合員の獲得に向

組合員各位の細部に亘るご配慮を更にお願いする。その他、沼津、藤枝、島田等県下空白域の組合員確保策についても強力に推進していくこととする。

また、重点課題の後継者の確保育成については次世代を担う意欲に満ちた若い組合員の加入促進に積極的に取組み、組合青年部の更なる活性化を図つて行く他、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を令和四年度に延期した全国建築板金業者静岡大会（令和四年五月十九日開催）に向けて全力を挙げて取り組むと共に、全板連の指針等を活動の基本方針とし、次に掲げた活動目標を推進し、組合員企業の発展に努めていく。

組合員の団結による組織強化と業界の社会的地位の向上をはじめ、基本的には前年度と同様に、技術・技能に関する各種研修会の開催やWAZAチャレンジ教室、ものづくり体験への支援、災害防止の啓発活動や安全パトロールの実施、また、責任施工保証事業の推進や各種保険事業の取次ぎ、事務などを行なうが、それらの事業についての情報提供・資料提供、事業効果を上げるために様々な見直しや新たな取組み等も検討している。

最後に、当組合の財政状況に触れるが、全板塗岡大会の開催経費の一部を負担することとなるほか、近年は、他の技能会同様、高齢化等の進展によって廃業する者が増えていることもあり、専常的な収入不足に陥っているが、事務局として事務的経費の削減、各種経費の見直し等を更に計った結果、今年度は事業運営に支障をきたさないと思われる所以で、ご承知いただきたい。

五年ほど前から講習申込書に受検者が加入するどちらかの保険証書の写し又は、加入証明書の写しを添付していただくこととしたので、よろしくお願いいたします。

また、受検申請書を職能協に提出した場合は必ず、県板事務局にご連絡いただきたいと再三、再四お願いしていますが、このことを連絡いただけない場合、システム上、事務局では正確な申請者が把握できず講習会の案内を出せない場合がありますので、ご承知ください。

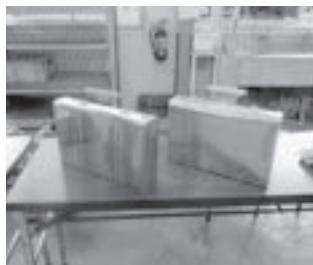
今からでも遅くありません。トラブル防止のためにも職能協に技能検定申請書を提出した方は必ず県板事務局にご連絡ください。

技能競技大会の日程案決まる

技術検定委員長
松下隆満

令和四年度の技能競技大会は、九月二十五日(日)に静岡県立工科短期大学校(清水技術専門校)で開催する予定です。

課題作品については、Aコースは「水差し」となる見込みです。Bコースは令和五年二月に行われる全国競技大会の課題作品「ティッシュユケース」となる見込みです。



競技大会参加者を対象とした事前講習会は、八月二十八日(日) 静岡県立工科短期大学校(清水技術専門校)で開催する予定です。

入賞者は県知事等から表彰され、また今年度のBコース優勝者他二名は、令和五年二月二十五日(土)から二月二十六日(日)に富士宮市で開催される全国大会へ出場できることとなります。



県板事務局

「WAZA チヤレンジ教室」の実施

令和四年度のWAZA チヤレンジ教室は、五月十七日の島田市立金谷中学校からスタートし、東・中・西で九校が予定されており、内訳は四校の一覧表のとおりである。昨年は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、蔓延防止措置解除後も感染拡大の防止策に万全を期し、社会経済活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響が供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があると分析されている。

このような中、我々建築板金業界に直接影響する設備投資はこのところ持ち直しの動きがみられるが、住宅建設はおむね横ばいと分析されている。このように我々業界を取り巻く環境は住宅新築などの受注機会の減少に加え、度重なる資材価格の高騰、実質施工単価の低落傾向及び新型コロナウイルスの感染症のまん延防止対策の実施などにより、経営環境は、依然として厳しい状況に追い込まれていると認識される中、組合員にとって身近な関係にある資材取扱業の協力店の皆さん及びメーカーの皆さんにご参加いただき、恒例の意見交換会が、令和4年3月11日(金) 静岡市駿河区の「静岡第一ホテル」で開催された。

今回は、業況厳しい折ではあるが、資材取扱業から㈱小池弥太郎商店、西川鋼販㈱、㈱金慶マクサプライ3社3名及びメーカーから、ニチハ㈱、福泉工業㈱の2社4名計7名の出席があり、当常任理事会のメンバーと活発な意見交換がなされた。

を競うことが業界全体のレベルアップに繋がると期待しています。

新規加入者紹介

(令和三年十月一日から)

榛南支部

及川 天唯 氏

榛南支部

鈴木 寛啓 氏

(令和三年十一月一日から)

静岡支部

永嶋 英人 氏

(令和四年二月一日から)

浜松支部

金子 悠太 氏

(令和四年四月一日から)

北榛支部

増田 康信 氏

(令和四年四月一日から)

焼津支部

村松 紀幸 氏

イルスの影響で、裾野市立東中学校がキャンセルとなり、九校で実施された結果、中部で五校、西部で四校、計一五八名の児童・生徒を指導した。

なお、最後の結果については、十一月三十日の県板ニュースにて報告する予定です。

事務局の人事異動

本組合事務局長の杉山峯男氏は、三月三十一日をもって退職されました。

組合運営の大変難しい時期にまた、全板静岡大

会が三年も延期されるなど多忙な時期に九年九か月にわたり事業活動の円滑な推進にご尽力され、感謝いたします。

後任には、四月一日付で、伊東俊一氏が就任されました。

退職のあいさつ

杉山 峰男

大変お世話になり、ありがとうございました。

県板には、前任者から引き継ぐときに五年くらいはお世話になるかもしないと思つて勤務し始めましたが、松浦理事長との不思議な縁もあり、また、皆様方のご厚情を身に感じるうちに六年がたち、七年がたち、とうとう十年近くになつてしましました。

就任あいさつ

伊東 俊一

この度、杉山事務局長の後任にお話をいただき、四月一日から当、板金工業組合のお世話になることとなりました。

これまで、新型コロナウイルスの感染防止対策が推進される中にあって、引き続き、新型コロナウイルスの感染防止対策が推進される中にあって、静岡大会もすぐそこまで来ているとの引き継ぎを受けましたが、これまで

また、板金工業組合は通算五十八年働いた最後の職場となりますので、井上元理事長様、林元理事長様及び組合役員の皆様方との出会いは大切な思い出にしておきたいと思います。

毎日が楽しく、理想的な職場環境を与えていた最後の職場となりますので、だき、心から感謝しております。

前局長が培われた実績、成果を汚さないよう、また、事務局として、円滑

な組合運営に資するよう努めてまいる所存です。

組合員の皆様方には、ご鞭撻をいただきます。うお願い申し上げます。

協力店との意見交換会を開催

県板事務局

開会後、松浦理事長が挨拶に立ち、会議の主旨、第72回全板静岡大会の準備状況などを説明後、意見交換に入った。

メーカー及び協力店側からは、鋼板関係の値上げは確実であり、下がることない。材料の入手もスムーズではなく特にフッ素系のサイディングは全国的に不足し、全てのメーカーが販売中止に追い込まれており、現在も不足が目立つ。新築住宅の受注は堅調に推移しており、リフォーム市場も案件がかなりあるが、窓業界がメインであり、両市場とともにコロナ及びウッドショックの影響で混乱している。そんな中でもリフォームは良かったが、モノ不足、価格高などにより、昨年9月頃、いったん低調となり、今年の年明けから各メーカーは苦戦している。需要を先食いしているような状況にある。などの説明があり、

組合側からは、昨年11月から今年の3月にかけて富士田子の浦地区及び静岡市葵区で、フッ素系のサイディングを使った工事を施工したが、あっという間にフッ素系の材料がなくなり、客の注文にも100%答えられなかつた。

今後、フッ素系のサイディングはどうなるのか、メーカーはどうするのか等フッ素系サイディングの不足があらゆるメーカーに及んでいることから、今後の動向を質問した。

メーカーからは、確かに商品はフッ素系が増加している。フッ素原料は中国が原産地であるが、自動車産業に回っているものが多く、今後も建築材料に回ってくる見込みは低く、一次、生産中止をしている。

我々としては、ポリエチレン樹脂製品への切り替えを考えている等の回答があった。そのほか、協力店やメーカーの皆さんからは様々な意見が寄せられ、組合幹部と熱心に意見交換がなされた。

新型コロナウイルス感染防止対策としてのまん延防止措置を推進中であり、欠席された方々も多かったが、閉会後の懇親会の中で様々な意見交換がなされ、非常に有意義な意見交換会となった。

第20回全板静岡大会推進会議協議結果

4.4.20

- 第72回全板静岡大会の延期
令和3年5月19日(水)、20日(木)で開催が予定されていた第72回全板静岡大会は、3月11日午後の全板連の正副理事長会議の決定により、会場は静岡ツインメッセのままでし、令和4年5月18日(水)(前夜祭)及び19日(木)(本大会)に再延期されることとなったので、組合員、静岡県、静岡市、協力店、メーカー関係機関に対して通知し、理解と協力を求めた。
また、令和3年11月4日の全板連理事会で、参加人員の変更があり、2,000名の参加を目標とすることとなった。(4月20日現在1,750名となった。)
- 観光パンフレット(静岡市するが企画観光局が提供)
静岡大会の県観光パンフレットは、県から提供していただかが、全員分を用意できないため、会場入り口にて、希望者に配布する予定。
なお、「ぶちぢりご静岡」「ぐるめナイトマップ」及び「おもてなしクーポン」は参加者1,750名全員に静岡市駿河区観光観光局が用意することとなっている。
- 参加者へのお茶を用意することとなった。
ツインメッセ静岡の施設利用ガイドラインにより、大会会場での飲食ができないので、弁当に変わる代替措置として参加者全員に「お茶の土産」を記すこととなった。
- のぼり旗及び横断幕
のぼり旗50枚、ポール50本、横断幕1種類「富城方式7.5m」を作成し高知県でのビーアール活動に使用した。静岡大会では、のぼり旗を会場周囲のフェンスに固定するか、組合員が持つて会場に立つ予定。横断幕はメイン会場の北壁に貼り付ける予定。
- 参加人員見込み(組合員、従業員等参加人員を280名。)内、女性を10名程度とする。
- ブルソインコートは350着準備した。
(L200着、LL150着、すでに全組合員に配布し、高知県大会で使用した。)
今後、女性、青年部、従業員の分を計画的に配布する。
- 記念モニュメントは折鶴に決定
大会記念モニュメントは折鶴とし青年部を中心となって見本作りなどを行なう各支部に折鶴の見本を配り各地区で300個を作成することとし元年10月26日以降に各地区に材料の銅板900枚を配布し各支部において作成した。
(銅一人3羽、アルミ「500ミリリトル缶」一人1羽)アルミ材料についても調達・配布した。現在、青年部を中心となって作業を進めた結果、折鶴による富士山は令和2年3月15日に完成した。大会終了後は富士山静岡空港など県関係機関等に働きかけ寄贈予定としている。
- 協力店・メーカーへの記念誌広告料等要請
いくつかのメーカーから具体的な支援要請をお願いしたいとの依頼が有ったが、県板負担分の記念誌の発行に対する1口10万円の広告料をお願いする方向で松浦理事長から協力店及びメーカーに説明し協力を要請した結果、この報告で了解された。
また、この件については、多少の行き違いがあったので元年9月24日に急遅、説明会を開催し、協力店・メーカーにお願いした結果、原稿通り広告料として要請することとなり、具体的には12月中旬に理事長及び地区長などが各店、各メーカーを訪ねて協力を依頼した。結果として200万円の広告収入を見込んでいる。記念誌の編集は令和3年12月に再開する予定。
なお11月4日の全板連理事会において、前夜祭を行わないこととなったため、協力手の予備メーカーからの広告料を一定の金額を返還することとなった。(10万円は34,000円を5万円は11,500円を返還する。)1月31日に16社に対して返還した。結果として3月4日に全て返還した。
- 組合員企業及び関係機関の広告料はA4判2万円、半分は1万円とし、広告の対象は地区、支部も広く含めることとし1月末を目途に広告を募集した。100万円の広告収入があった。
- 静岡商工中金からの補助金繋ぎ融資
平成30年10月上旬に静岡商工中金に対して2020年の全板静岡大会への融資について相談した。(組合定款、28~30年度の総代会議事録、議案書、各県大会記念誌の表紙を提出。)
その他、静岡大会実施計画・市役所の後援名義使用許可書の写、組合員名簿、大会収支予算書、補助金内訳書を提出し、全体の経費は1,800万円掛かるなどと説明。補助金が入金されるまでの繋ぎ融資を依頼したが、借り入れなくても済む可能性が高い。
- 救急対応のための看護師2名の確保は完了している。
看護師は救急用品及び血圧計の傾向が望ましいとの説明があったので、県板において、簡単な血圧計及び救急セットを用意する。
- 式典アテンダント2名を確保した。
- ポスター及び大会記念誌の発注
これについては見積もり合わせの結果、株チヨダに発注し、ポスターについては各種サイズ計1,100枚を印刷し各県に配布した。
大会記念誌は全板連に先立って準備を進め、大方の広告等の原稿は出揃った。大会延期が決まる一日前の3月12日から一時中断しているが、今年の12月編集作業を再開したい。
現在、最大2,200冊の印刷を予定している。ポスターの後援名義については3回目を10機関から承認された。(6月4日、全国に向け、修正シール発送済み。)
一部A4判については新たに印刷して使用することとした。
なお、県、市、関係機関から新たに印刷したポスターが欲しいとの要請があり、県板単独で、令和2年にB3判100枚、A4判100枚の計200枚を印刷した。
- バス駐車場の確保
バス駐車場については、約百数十台分を確保する方向でツインメッセの担当と共に努力した。(IAIスタジアム60台は確保できる見込みである。)
なお、バス駐車場の警備及び説導は日本旅行において対応する予定であり県板は要員を割く必要はない。IAIスタジアムについては(60台で59,400円が必要)
また、競輪場の南第1駐車場(自家用自動車250台分)の借用については、大会会場から2.5キロ地点であり、利用価値が低いことが予想されるが、新型コロナウイルスの影響から参加手段を自家用車へ変更することが懸念されるため、静岡市役所と交渉し、引き続き確保することとした。
現在は大型バス60台を駐車することで交渉している。
参加人員が再び2,000名と縮小しているため、バス駐車場の確保は順調と思われる。
1月31日、日本平IAIスタジアム管理事務所の野崎さんに連絡した結果、5月19日の駐車場は8時から17時まで使用できると回答有り。また、2月8日に全板連の小林事務局長から参加するバスは50台であると回答有り。静岡市役所に確認し使用申請書を4月中旬に提出予定。
令和4年4月13日にC35台に決定した。
- 県産品等の販売ブースの確保
これについては、厚生労務委員会が中心となって決めてゆくこととなり、全板連と交渉した結果、9月中旬に5ブースを確保することとなったが、2月26日に1ブースを追加し最終的に6ブースとなった。お店の内容は、駿府楽市4ブース、酒店2ブースである。設置費は1ブース(3m×3m)5万円であり、この

うち、県板が4万円を負担し、出店者からは1万円を徴収することとなった。出店申し込みについては適時に手続きを開始したい。新型コロナウイルス感染防止のため、施設内の飲食が禁止されており、2月8日の小林事務局長との話し合いの結果、南館、県板ブースでの飲食物の販売はできないこととなった。この旨、久保さんに連絡す。

- 前夜祭及び大会当日の実施体制・体制図の整備
全板連から前夜祭及び大会当日の体制図を作成してそれぞれのセクションを統制しながら対応するよう指示があり、実施体制図の基礎を作成した。さらに、第14回推進会議において実施体制図の変更を行った。その後、令和2年12月17日の現地打合せ会において新体制図が配布された。これについては再度、変更が必要であるとされ令和3年8月12日に新実施体制図を作成し推進会議委員全員に配布して意見を求めた。
令和3年11月4日の全板連正副理事長会議において前夜祭が中止となり、大会に向けて体制図を整備することとなった。最終的には、令和4年4月5日に現地打合せ会が行われた。
- 弁当の調達先の決定
弁当については一人当たり1,200円に単価が改正されたので、条件は改良され、第10回推進会議において東海軒、天神屋、おいろ弁当の3社の弁当を試食し、投票した結果、弁当の発注先は東海軒に決定した。11月4日の全板連理事会において弁当が中止となり、新茶100グラムをお土産として全国からの参加者1,750名に配ることとなった。
- 前夜祭の出席者
前夜祭の出席者は、招待者30名、県板からの出席者70名を特定するため、招待者案及び県板からの出席者に関する考え方をまとめ、第15回推進会議に諮った。なお、招待者30名を除く県板からの出席者70名は役員24名、その他の46名であり、全組合員数を46で除して組合員何人に一人を選出するかを算出し、支部の組合員数を除して12月23日決定した。
これについては各支部に対して、令和2年1月下旬に通知し2月末までに報告を受けることとした。
これについては全板連の小林事務局長から静岡県板の参加規模の決定は前夜祭規程の確定までご猶予願いたいとの連絡があり、その後、11月9日付けで、前夜祭の規程は当初の2分の1程度となることであったが、12月17日の現地打合せ会の結果、前夜祭240名(内県板100名)となったものである。参加人員については今後、見直しからうる。
- 11月4日の全板連理事会で、前夜祭は行わないこととなった。
- 宿泊施設の確保
現在、4年5月18日の宿泊施設をホテルアソシアに確保している。
シングル30室(税込み朝食付き15,580円)宿泊希望者は県板事務局までご連絡願いたい、としていた。(これについては、大会延期を受けて、全てキャンセルし4年度同時期で再び確保した。)
令和3年11月4日に前夜祭を行わないこととなったため、シングル10室に変更した。
- 静岡県知事、静岡市長への表敬訪問
令和3年3月12日に全板連の天野理事長、小畠専務理事、静岡県松浦理事長他で、静岡市長、副知事を表敬訪問し、大会が延期になったことを報告し、県知事、静岡市長の了承を得た。
3回目の表敬訪問を令和4年3月14日(月)に行なった。
- 静岡大会の延期決定経過
全板連の天野理事長は上記17日の表敬訪問に際して、静岡市長及び難波副知事に対して、今般の新型コロナウイルスの蔓延状況に対する全板連の考え方を説明した。この3月26日に緊急常任理事会を招集して静岡大会の開催についてどう扱うかを決定したいとのことであった。
なお、この決定は各都道府県組合に対して当日のうちに連絡したいとの意向であったが、結果として3月26日の午後、令和3年5月19日、20日への延期が決まった。
新型コロナウイルスが猛威を振るう中、全板連は令和3年3月11日の正副理事長会議で令和3年度の静岡大会を令和4年まで延期することを決定した。令和3年11月4日に前夜祭を行わないことを決定した。また、全板連静岡大会の開催可否の決定は3月16日の水曜日に行なう旨、静岡大会実施要綱の変更と共に2月7日に全板連から連絡があった。
- 静岡市「茶っきり娘」事業の活用
静岡市農業政策課「お茶の町推進会」で担当している「茶っきり娘」事業の中で、「茶っきり娘」10名程度の派遣を依頼し、展示会場であるツインメッセ南館の入口付近で展示会場の来客に対してお茶の接待を行うことを考えていたが、新型コロナウイルスが猛威を振るっているため、断念した。
これについては、静岡市からの意向もあり、前夜祭でのお茶接待サービス等について前向きに検討していくこととしている。
参加人员が決定してから、静岡市に対して、具体的に働きかける。
前夜祭での茶娘の出番はなくなったので、展示会の南館へ来ていただけるか検討を要す。
令和3年12月に静岡市の担当と協議した結果、新型コロナウイルスの影響を考慮すると茶娘の派遣は難しいとの回答を得た。
- 静岡県議会、市議会議員の当組合に対する絶大な支援
今回の市会議員選出で、初当選した美葵選出の「鈴木直人」氏は、父上様が元職能協の理事長を務めた方で、県板組合に好意的であり、選挙で、静岡市板の推薦を受けた経緯もあって、大会の成功に向け、東奔西走してくれている。
静岡市補助金の増額、茶っきり娘の確保、お茶の調達、するが企画観光局のモニュメントの確保。市長の大企業参加確保等多岐にわたり強力に支援してくれている。
そのほか、「天野一」氏及び「竹内良訓」氏の両県議会議員についても県費補助金の確保、後援名義承認そのほかで大変お世話になっている。
- 全板静岡大会の参加条件として、次の4項目が加えられた。
 1. 大会参加者の申込時の新型コロナウイルスワクチンの接種回数を2回終了から3回終了に変更したこと。
 2. 前夜祭を中止し、大会参加者に対する昼食(弁当+飲料)の配布はしないこと。
 3. 大会直前の10日以内(5月9日以降)に新型コロナウイルスのPCR検査等が陽性となった方々の参加は不可となること。
 4. 会場内における食事(弁当など)は不可であること。



難波県副知事 (R4.3.14表敬訪問)



田辺静岡市長 (R4.3.14表敬訪問)

長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・エアー工具販売
住まい造りのおてつだい

萩原スチール株式会社

お気軽にお問合せ下さい

本社 燃津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700

鉄板用ビスの御用は
ドリルビス・コースレッド・ALCドライブ・ルーフボルト・各種
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

2020年 立ハゼ
UM立平333 発売

この街を想い、この街を創る
UEMATSU GROUP

令和4年度技術検定委員会議事録

技術検定委員会は、令和4年4月15日(金)に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催され松浦理事長、松下委員長等20名の委員などが出席し、熱心に討議が行われ、令和4年度の事業計画を承認した。

1 WAZAチャレンジ教室の支援について

県内の実施希望校は、別表の9校となった。

内訳は、東部地区4校、中部地区3校、西部地区2校となっている。

2 技能検定試験への対応

技能検定試験に向けての実技講習会は、6月4日(土)・6月5日(日)に静岡県立工科短期大学校で開催することになり、学科講習会は、8月23日(火)・24日(水)に静岡労政会館で開催することが決まりました。

なお、令和4年度の技能検定試験は、実技が7月26日(火)にポリテクセンター静岡で、学科が9月4日(日)に実施される予定。(学科試験は職業能力開発協会が実施する。)

実技講習会講師 9名

松浦、松下、杉山、山口、吉永、小野寺、山下、岩崎、赤堀
実技試験検定員 12名

鈴木(隆)、早川、金井の3名は技能検定委員

松浦、松下、杉山、山口、吉永、小野寺、山下、岩崎、赤堀の
9名は補佐員

学科講習会講師 4名

鈴木(隆)、大川、金井、久保

4月16日(金)に締め切られた技能検定試験申込み状況は今後、職業能力開発協会から申込概要について連絡があるが受検者は組合関係だけで、35~36名程度と見込んでいる。

*(部)は「部会長」の略である。

3 技能競技大会について

事前講習会を8月28日(日)、競技大会を9月25日(日)にAコース、Bコースとも静岡県立工科短期大学校で開催することになった。

課題についてAコースは「水差し」に決定、Bコースは、全板競技大会の課題である「ティッシュケース」に決定し、常任理事会及び理事・支部長会議に報告した。

技能競技大会講習会講師及び同上審査補助員は技能競技大会の参加申し込み状況を参考にしながら今後、決定していくことになった。

ちなみに、審査員は理事長及び副理事長の計4名である。

4 全国建築板金競技大会

国建築板金競技大会は、課題「ティッシュケース」で令和5年2月25日(土)・2月26日(日)に富士宮市の富士教育訓練センターで開催されることとなっている。

これには今年度の技能競技大会のBコース最優秀者及び優秀者の計2名が参加できることとなる。

5 ものづくりマイスターが行う体験学習等の開催

令和4年度は、予算の関係で「体験学習」は行わないで、「ものづくり体験等」の事業は実施する予定。また、「ものづくりフェスタ2022 in しずおか」については、開催が未定。なお、清水、沼津、浜松技術専門校のテクノフェアには参加をお願いする。

令和4年度 県板主要事業計画(4月1日~9月30日)

令和4年4月20日現在

月 日	行 事	会 場	備 考
4.1(金)	三役会議	県板事務所 15:00~	三役
4.8(金)	三役会議・三役・会計理事合同会議・会計監査	県板事務所 10:30~順次開催	三役・会計理事・会計監査
4.15(金)	技術検定委員会	あざれあ4階 第1会議室	理事長・委員長他
4.22(金)	第1回常任理事会 理事・支部長会議	あざれあ5階 第3会議室	理事長他
4.26(火)	中部板金工業組合協議会・通常総会	ホテルグランヴェール岐山	理事長他
5.13(金)	県技連第1回理事会	静岡労政会館5階第2会議室	理事長
5.17(火)	(準備)第72回全国建築板金業者 静岡大会	ツインメッセ静岡 13:00~	理事長他
5.18(水)	(準備)第72回全国建築板金業者 静岡大会	ツインメッセ静岡 9:00~	理事長他
	全板協・日板協総会	ホテルグランビルズ静岡 15:00~	理事長
5.19(木)	第72回全国建築板金業者 静岡大会	ツインメッセ静岡 7:00~	来賓・全板連・県板理事長他
5.25(水)	第2回常任理事会 第58回通常総代会	あざれあ4階第1研修室 10:30~ 同 上 13:00~	理事長他 総代・組合員
5.25(水)	県技連令和4年度総会	清水テルサ 14:00~	欠席
6.1(水)	職業能力開発協会第1回理事会	あざれあ 15:00~	理事長
6.1(水)	職業能力開発協会第44回総会	あざれあ 15:30~	
6.4(土) ~5(日)	技能検定実技講習会	静岡県立工科短期大学校 9:00~ 静岡県立工科短期大学校 9:00~	技術検定委員 受講希望者
6.24(金)	厚生労務委員会	静岡労政会館第1研修室 13:30~	理事長・委員他
7.4(月) ~7.5(火)	中板協第2回常任理事会・ 事務局連絡会合同会議	静岡県伊豆長岡温泉ホテル サンソーラー富士見 14:00~	理事長・事務局
7.22(金)	同 上 視察	JR三島駅 13:00解散	
7.22(金)	保証経営委員会	静岡労政会館 第1研修室 13:30~	理事長・委員他
7.25(月)	技能検定実技試験(準備日)	ポリテクセンター静岡 前日 13:00~	検定委員・補佐員
7.26(火)	技能検定実技試験(検定日)	ポリテクセンター静岡 試験日 9:00~	受検者・検定委員・ 補佐員
7.27(水)	技能検定実技試験(予備日)	未定	受検者・検定委員・ 補佐員
7.29(金)	技能検定学科講習会講師打合会	県板事務所 10:00~	委員長・講師他
7.29(金)	第3回常任理事会	静岡労政会館 第1研修室 13:30~	理事長・三役他
8.23(火) ~8.24(水)	技能検定学科講習会	静岡労政会館5階 第1研修室 (西日 9:00~)	技術検定委員他
8.28(日)	県技能競技大会講習会	静岡県立工科短期大学校 9:00~	技術検定委員他
9.25(日)	県技能競技大会	静岡県立工科短期大学校 9:00~	技術検定委員他

10月以降は次号(7月31日号)にて表示します。

令和4年度 WAZAチャレンジ教室一覧(実施日順)

学 校 名	実 施 日	生徒数	担当支部	担当委員	担当先生
1 島田市立金谷中学校 中2(開催検討中)	5月17日(火) 9:00~12:00	25名	北 棟 支 部	湯脇 厚志	伊藤 隆美 0547-45-3128
2 御殿場市立富士岡中学校 中2	6月21日(火) 9:25~12:15	20名	御殿場支部	杉山 元良	勝又 真智 050-587-1122
3 浜松市立葵西小学校 小6	6月28日(火) 9:00~12:00	20名	浜 松 支 部	岩崎 則幸	鈴木 祐子 053-436-6652
4 碧田市立竜洋中学校 中3	7月4日(月) 13:30~15:30	10名	中 遠 支 部	山下 領一	村松 明子 053-866-2324
5 静岡市立富士見小学校 小6	9月7日(水) 9:00~12:00	15名	静 岡 支 部	吉永 秀男	佐藤 俊子 054-286-3165
6 焼津市立焼津東小学校 小6	9月29日(木) 9:10~11:50	15名	焼 津 支 部	秋山 茂	松本 寿代 054-628-6348
7 福野市立西中学校 中1	10月18日(火) 9:00~12:00	20名	御殿場支部	杉山 元良	中山 智善 055-992-0157
8 福野市立東中学校 中1	10月20日(木) 9:00~12:00	20名	御殿場支部	杉山 元良	溝畑 哲 055-992-0012
9 沼津市立今沢中学校 中1	10月21日(金) 13:10~15:45	10名	三 島 支 部	大川 雅義	久保田 賢洋 055-966-9981

*令和4年度の課題は未定であり後日決定する。

*新型コロナウイルスの感染防止対策に留意しながら実施してください。

欲しい物がここにある
さまざまニーズにお応えします
西川鋼販株式会社

鐵鋼二次製品 卸・加工

本社／〒437-1302 掛川市大渕9617
TEL 0537-48-3828㈹ FAX 0537-48-2644
ホームページアドレス <http://www.nishikawakouhan.com/>

事業者様向けの会員制カタログ・インターネット通販
会員登録料無料・年会費無料 ご注文は24時間WEB・FAX受付

・エスコ便利カタログ(工具・機器・部品・消耗品・備品)代理店
ファーストリフォーム(施工のプロための住宅建材)代理店

カラーベスト屋根リフォーム専用スケッチサイズ改修横葺

エバーライン® カバーべスト(工業所有権)

軒先唐草が不要・軒樋は取り替えなしで施工ができる画期的な屋根材

屋根・外壁見積算ソフト
ソーラーパネル取付金具

板金王® 瓦王® 外壁王®

PVロック® レンタル契約 ¥10,000(税込)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ

総発売元 西川鋼販株式会社

詳しくは当社ホームページをご確認ください。

ガルバの屋 根と壁でつくる
ROOF & SIDING

株式会社 小池弥太郎商店

HPへの
アクセス



ガルバ小池 [Google検索](http://www.koike-s.jp)

www.koike-s.jp

金属製屋根材・外壁材75品目以上の型成機を保有
大型施設から戸建住宅までカバー

<雨樋・窓枠系サイディング・ビス等の資材も小売販売>

本社：静岡県静岡市葵区流通センター16番地 Tel.054-263-2280
拠点：本社・静岡工場・牧之原支店・工場・東京事務所 Fax.054-263-6163

鋼板製 定尺横段葺屋根材 エスジーエル
快適L-F SGL®
建物全体に重厚感を演出する
彫りの深い段葺ライン

※ 使用鋼板最高機械性能フレコレート鋼板「ノープル15 SGL」

※ SGL(エスジーエル)®は日鉄鋼板(株)の登録商標です。

SEKINO セキノ興産

工夫を重ね、素材を重ね。
プロの創造力が際立つ。
外観デザインの可能性、
さらに広がる。
LAP-WALL
ラップウォール

ケイミュー株式会社 静岡営業所 TEL: (054) 261-0336